

# 登録及び入会手続要領

東京土地家屋調査士会

土地家屋調査士名簿への登録及び土地家屋調査士会への入会手続を執る場合は、下記「登録手続きについて」及び「入会手続きについて」の書類等を整え、事務所を開設しようとする地域の支部長を経由した後に、**当会へ書類等をご郵送（レターパックプラスまたは配達証明付郵便）のうえ、手数料・入会金を指定口座へご入金**ください。

なお、「登録手続について」及び「入会手続について」に記載のある必要書類等は、手続毎に、それぞれ記載されている通数が必要です。

（この手続要領は、土地家屋調査士法・土地家屋調査士法施行規則・日本土地家屋調査士会連合会会則・東京土地家屋調査士会会則に基づくものです。）

記

## 登録手続について

### 1. 「登録申請書」2通（正本1通、副本1通）及び「収入印紙」3万円分

※ 正本及び副本のそれぞれに押印してください。

※ 本籍・住所等の記載に当たっては、「-」（ハイフン）等で省略記載することなく、住民票等記載のとおり「○丁目○番○号」と記入してください。（以下の書類作成も同じ）

※ 収入印紙は、**申請書に貼付せずにご郵送**ください。

### 2. 土地家屋調査士となる資格を証する書面（原本と写し 各1通）

※ **原本については、確認後、当会からご申請者へご返送いたします。**

### 3. 民間紛争解決手続代理認定 認定証書（取得済みの方。原本と写し各1通）

### 4. 履歴書 1通（市販のもの可）

※ 学歴は最終学歴を、また、職歴は詳細に記入してください。資格については有資格をすべて記入し、かつ、営業の有無を括弧書きで注記してください。

### 5. 写真 4枚

※ 提出日前3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cm、無帽かつ正面上半身の背景のない、カラー・光沢仕上げ写真

### 6. 「戸籍抄本」及び「住民票」 各1通

（外国人であるときは、国籍等の記載された外国人住民に係る住民票の写し）

※ 登録申請書提出の日前3か月以内に交付されたもので、個人番号の記載を省略したもの

### 7. 身分証明書 1通

※ 土地家屋調査士法第5条第2号及び第3号に該当しない者である旨の官公署等の証明書で、登録申請書提出の日前3か月以内に交付を受けたもの

### 8. 誓約書 1通

※ 土地家屋調査士法第5条第1号、第4号及び第6号から第8号に該当しない者である旨の誓約書

### 9. 登録手数料 金 25,000円（当会指定口座宛にお振込みください。）

# 入会手続について

## 1. 入会届 1通（支部長の経由印が必要です。）

### 添付書類

#### ① 履歴書 1通

※ 学歴は最終学歴を、また、職歴は詳細に記入してください。資格については有資格をすべて記入し、かつ、営業の有無を括弧書きで注記してください。

#### ② 土地家屋調査士となる資格を有することを証する書面（写し） 1通

#### ③ 民間紛争解決手続代理認定 認定証書（取得済みの方。写し） 1通

#### ④ 住民票 1通

※ 本籍地の記載がない場合には、別途「戸籍抄本」1通を添付

※ 個人番号の記載を省略したもの

## 2. 「印鑑紙」及び「印鑑届」 各1通

※ 「印鑑届」に「印鑑紙」を添えて提出してください。なお、職印を作成するに当たっては、別添の「『職印』作成に当たっての注意事項」を参照してください。

## 3. 入会調書 1通（支部長の経由印が必要です。）

## 4. 事務所平面図・事務所位置図 1通

## 5. 預金口座振替依頼書・自動払込利用申込書 1部

※ 本書類は複写式様式のため、別途、当会担当部から郵送させていただきます。

## 6. 入会金 金 50,000円（当会指定口座宛にお振込みください。）

## 7. 「認印」及び「職印」

※ 登録・入会関係書類の作成に使用した印鑑をご持参ください。

## 8. 連絡先届出書 1通

※ 登録番号欄は空欄としてください。

日本土地家屋調査士会連合会の審査会を経て、当会への入会が完了しました後に、当該連絡先情報が当会に登録されます。

※ 入会手続きに際し、当会からご連絡が必要となった場合の連絡先としても使用されます。入会手続きの連絡先と異なるメール・携帯電話を同届出書に記載する場合には、入会手続き用連絡先のメール及び携帯電話を、別途任意様式にて、前述書類とあわせて提出ください。

## 9. 研修受講歴の確認について 1部

※ 会費については、登録の完了した月から、1か月 金13,000円、納入して頂きます。  
詳細は当会入会後に、担当部から案内がありますので、入会前の段階（入会手続き時）には納付の必要はございません。

※ 支部長の連絡先については、本会HPの「会員検索」  
（ <https://www.tokyo-chousashi.or.jp/membersearch/> ）からご確認ください。  
条件指定画面で希望の「支部」を選択すると、検索結果一覧上部に支部長情報が表示されます。

**【登録・入会手続費用振込先 当会指定口座】**

三菱UFJ銀行 神保町支店 普通 2346248 東京土地家屋調査士会

※ 誠に勝手ながら、振込手数料はお振込み者にてご負担をお願いいたします。

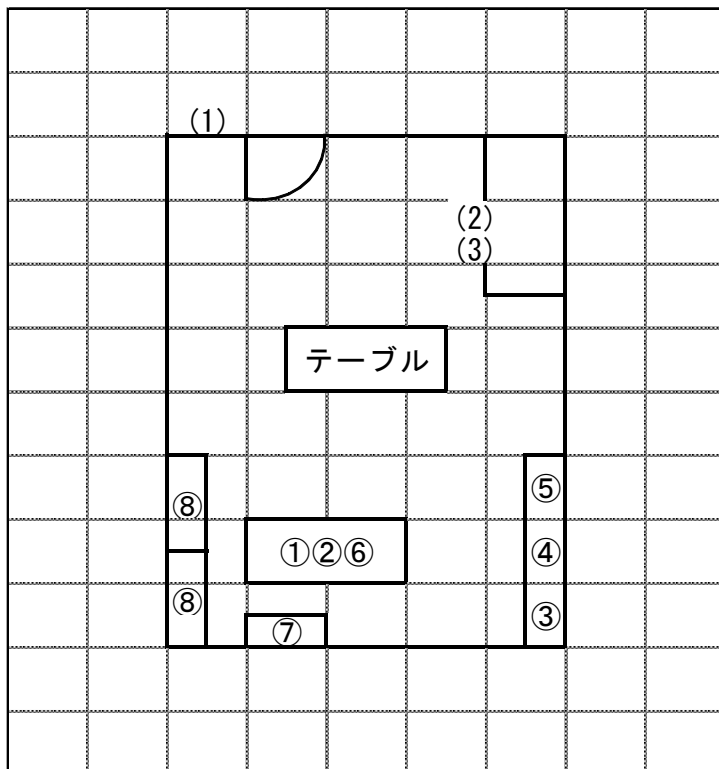
※ お振込名義人は、申請者ご本人名でお願いいたします。

## 事務所開設にあたっての留意点

土地家屋調査士として事務所を開設するにあたり、下記のような点にご留意ください。

1. 事務所には、「東京土地家屋調査士会会員土地家屋調査士〇〇事務所」と記載した表札を掲げること。（但し、入会するまでは掲示できません。）  
土地家屋調査士法人会員は、その名称と、社員である土地家屋調査士の氏名を記載した表札を掲げること。
2. 独立した事務所形態であること。  
（他資格者と同じ建物内に事務所を設置する場合は、土地家屋調査士事務所としての独立性を確保する必要があります。）
3. 事務所内の見やすい場所に、業務に関する報酬額の基準を掲示する等して明示すること。
4. 金庫や鍵付きの書庫を設置し、依頼者から預託された書類等を保管するために必要な設備を整えること。
5. 事務所の備品として、固定電話やファクシミリ、パソコン、測量機器等を設置すること。

### <事務所平面図 見本>



- ① 事務机
- ② PC
- ③ 製図機
- ④ コピー
- ⑤ FAX
- ⑥ 電話機
- ⑦ 金庫
- ⑧ 書庫・書棚
- ⑨ 応接室

- 1. 単独
- 2. 自宅兼用
- 3. 合同
- 4. 法人

- (1) 表札
- (2) 報酬額表
- (3) 倫理綱領

## 「職印」作成に当たっての注意事項

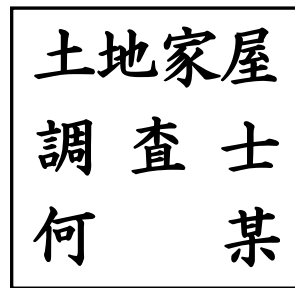
1. 大 き さ : 18mm 角 (四隅のカドは、丸くしない こと)
2. 材 質 : 柘植 (つげ) 材等, 変形・磨耗しにくい材質を使用すること。
3. 文 字 配 列 : 縦書き・横書きの何れでも差し支えありませんが, 文字の配列 (下記見本参照) も規格の一部 です。  
なお, 氏名 (フルネーム) は, 下記見本「何某」の位置に1行で入れてください。
4. 字 体 : 具体的な字体の定めはありませんが, 極端に崩した字体は避けてください。
5. そ の 他 : 氏名の後に「印」の文字は入れない てください。

記

### 【「職印」見本】 (拡大図)



( 縦 書 き )




( 横 書 き )

### 【「印鑑紙」見本】

附録 第 2 号 (印 鑑 紙)

(01.12.500)

印 鑑		事 務 所				
		氏 名				
		生 年 月 日	明治 大正 昭和	年	月	日 生

新規登録者 各位

東京土地家屋調査士会

## NTT東京電話帳株式会社発行の電話帳掲載の 事務所表示について（協力要請）

去る平成6年4月20日、日本土地家屋調査士会連合会と日本電信電話株式会社（以下「NTT」という。）との間で、NTTの発行する電話帳（以下「タウンページ」という。）の「土地家屋調査士」欄へ、土地家屋調査士の資格を有しない者が掲載されることを予防・排除し、その利用者の保護を図ることを目的とする「覚書」が締結されました。

これを受けて、当会においてもNTTとの間で同趣旨の覚書（平成6年11月4日付け）を取り交わし、土地家屋調査士以外の者が「土地家屋調査士」欄に掲載されることを予防すべくNTTより新版タウンページ掲載情報の提供を受け、現在その審査を行っているところであります。

従前、この作業を行うに当たり、当会会員の事務所表示についても兼業職種名（建築事務所、測量事務所、測量設計事務所、外）または法人名（土地家屋調査士法人を除く）等による掲載が数多く見受けられ、これがタウンページ利用者（一般国民）に対し、あたかも、それら他業種の資格者あるいは会社組織等においても土地家屋調査士業務が行えるかのような誤解を与える恐れがあるものとして、タウンページの「土地家屋調査士」欄に掲載する当会会員の事務所表示については、「何某 土地家屋調査士事務所」、「何某 事務所」あるいは「個人」名のいずれかに修正させて頂くべく、同欄に掲載を行っている会員各位に対しご協力の要請を繰り返して参りました。

現在では、この趣旨について多数の会員のご理解とご協力のお陰をもちまして、誤解を招く可能性のある事務所表示は殆ど見ることができない状況まで改善することができました。

つきましては、各位におかれましては、当該趣旨並びに事情等ご賢察の上、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

以 上